

平成30年7月豪雨対応

平成30年8月17日
野村ダム管理所

野村ダム放流警報所の応急復旧が完了

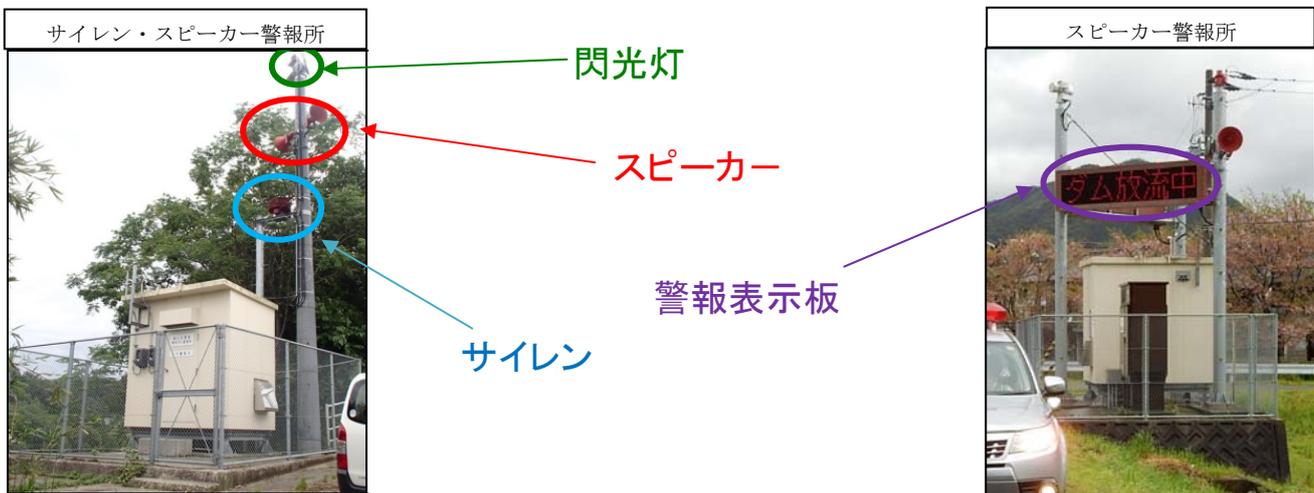
～豪雨で故障した3箇所の警報所が復旧し、全箇所で警報が可能に～

野村ダムでは、ダム本体から西予市野村町鎌田にかけて全11箇所の放流警報所を設置しており、サイレン、スピーカー、警報表示板及び闪光灯により放流警報等を実施していましたが、平成30年7月豪雨の影響により放流警報所(全部11箇所中3箇所)が浸水し、故障、稼働できない状況となっていました。

当面の代替措置として、被災した警報所ではスピーカーを仮復旧して、サイレン音をスピーカーから鳴らしていましたが、本日応急復旧が完了し、全てのサイレン吹鳴が可能となりました。また、併せて闪光灯と大和田警報表示板の応急復旧も完了しました。

(* 上宮警報所と渦尻警報所の警報表示板は応急復旧作業中です。)

なお、今回の復旧は応急復旧としての対応であり、今後本復旧に向けた対応(遠隔操作システムの復旧及び局舎のかさ上げ等)を実施する予定です。



本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を初めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省	四国地方整備局	野村ダム管理所	Tel: 0894-72-1211(代)
事業対策官	江口 正則 (エグチ マサノリ)		(内 333)
専門官	酒井 博之 (サカイ ヒロユキ)		(内 330)
◎ 電気通信係長	山内 貴雄 (ヤマウチ タカオ)		(内 392)

◎ : 主な問い合わせ先

(野村ダム) 応急復旧が完了した放流警報所等 位置図

